



平和の使徒推進本部 社会司牧担当からの

お知らせ 2021年6月

特別寄稿 「三篠教会の日本語教室」から

フィリピン人労働者を支援する会 小松公寛

外国人との関わりを持ち始めて10数年経ちました。しかし外国人の日本語の問題には気づいていても関心を持つことはありませんでした。2年半ほど前、留学生会館を利用して「実習生 Day」という企画をし、その時、ベトナム人技能実習生3名から日本語を教えてもらいたいと頼まれたのが切っ掛けでした。ただ外国人の問題が多く、「平日ならば。」との条件を付けざるを得ず2名には諦めてもらいました。しかしいつの間にかこちらが中心になり、緊急事態宣言前には技能実習生を中心に17名程度になっていました。

5月16日に緊急事態宣言が出されると留学生会館を始め広島市の施設が利用できなくなり、どうしようかと考えていたところに、三篠教会のSr.木村(援助修道会)から見学に行きたいとの連絡がありました。これまでも三篠教会主催の日本語教室開催を働きかけてきていたので、渡りに船とばかりに、三篠教会での開催を提案すると、野中神父様の



許可を得られとのことで、19日のベトナム人留学生の勉強に合わせて、侍者をしているベトナム人留学生とSr.木村の4名で集まり、即日フェイスブックに「三篠教会の日本語教室」のグループが発足しました。技能実習生たちには外出禁止令が出ていることから留学生9名が移行することになりました。横川、楠木そして三篠周辺は留学生の集住地であり、9名にとっては便利になったといえます。6月15日現在、新規加入者11名を加えて20名となっています。

緊急事態宣言の最中にも拘わらず月曜日を除いて開催しています。この状況下にと響感を買って当然とは思いますが、これまで外国人の問題に関わってきて、行き詰って打開策を模索していると簡単に解決してしまうことにたびたび遭遇してきました。摂理としか言いようがないのですが、この一瞬のチャンスを掴み取り、一気に前進していかなければ成功することはあり得ません。緊急事態宣言終了を待っているだけでは三篠教会の日本語教室はできていなかったはずで、この理由の他に、7月12日に

日本語能力検定試験があります。今勉強に来ている人たちは、技能実習期間や留学が終わった後の人生を見据えて頑張っています。この人たちの日本での生活状況を聞くと可能な限り力になりたいと思うのは私だけではないと思います。特に、技能実習生とは比べ物にならないほどの厳しい生活を強いられている留学生たちの状況を知れば……。留学生一人一人のアルバイトの時間に合わせて勉強時間を設定していくと毎日開催せざるを得ません。例をあげると、夜 10 時から朝の 6 時までお弁当工場、9 時から 14 時過ぎが学校、5 時か 6 時ごろから 10 時ごろまでコンビニなどのバイト。この隙間に勉強時間が設定されます。一方技能実習生は土日だけでなく平日が休みの人も少なくありませんし、すべてが夜勤という人もいます。残業が 7 時前後まであり、10 時の勉強に出てきています。

彼らは、「日本人と話したいけど教会に行ってもそのチャンスがない。」と言っています。日本語教室と構えずに、雑談会の感覚でいいのではないのでしょうか。私自身そうした思いが強いので、勉強の前の 2～30 分ぐらいは会話練習の積りで雑談しています。その中で知ったベトナム独特のドンタオ鶏です。こちらが食べられるのではないかと思える雰囲気を持っています。1 匹数十万円し、特に足がおいしいそうです。こうした面白い話をいろいろ聞きだすのも楽しみの一つです。



小教区やグループでの活動をご紹介ください。また、ホームページに様々な講座や行事のご案内を掲載しています。

★子どもと女性の人権擁護デスクより

教会内でのハラスメント相談受付

月曜日・金曜日 9:30～12:00 13:00～17:00

電話番号 080-9795-3676



発行

平和の使徒推進本部 社会司牧担当

木曜日 9 時～17 時 電話:082-221-6613 FAX:082-221-6019

Email: socialdesk.hiroshima@gmail.com

ホームページ <https://www.social-desk.net/>